

やる気！元気！ありがとう！

飯小学校
校長室だより
第7号

令和2年12月24日

本日、令和2年度（2020年度）2学期の終業式を行いました。コロナ禍で、多くのことが中止になる中、学校行事、PTC活動、学年の活動などを実施することができました。保護者の皆様のご理解とご協力の賜物と、心から感謝申し上げます。

全校朝会の長い話

12月の全校朝会で、子供たちに次のような話をしました。私の話だけでしたので、長い話です。

皆さんは、どんなときに幸せを感じますか。プレゼントをもらったとき、褒めてもらったとき、おうちの人と笑っているとき、おいしいものを食べているとき、できなかったことができるようになったとき、…たくさんありそうですね。私は”ある言葉”で、すごく幸せを感じます。

その言葉を調べてみたら、日本では51通りの言い方がある…ということが分かりました。そこで問題です。たくさんある言い方を紹介しますので、その言葉が何であるか、考えてみてください。

沖縄県：にへーで一びる	山形県：おしょうしな	新潟県：ごちそうさま
青森県：めやぐだ	福島県：してもらって	山口県：たえがとうございます
熊本県：ちょうじょう	宮城県：まんずどうもね	京都府：おおきに
徳島県：たまるか	秋田県：おぎに	埼玉県：あいがとな
島根県：だんだん	宮崎県：かたしげない	愛知県：ありがとうさん
鳥取県：ようこそ	北海道：いや助かった	千葉県：あんがとう
石川県：きのどくな	三重県：おおきんな	

もう分かりましたね。私が幸せを感じる言葉は、「ありがとう」です。

私は、誰かの役にたったとき、誰かに「ありがとう」と言われたときに一番幸せを感じます。そして、いろいろなことに気付いたときに「ありがとう」と感じています。例えば、トイレでトイレットペーパーがあると、ありがたいと思います。トイレットペーパーを誰かが付けてくれたから、そこにあるのです。だから、私もトイレットペーパーがなくなったときには、次の人のことを考えて新しいトイレットペーパーを付けておきます。誰かの役に立つことも、大きな幸せです。

では、次の問題です。「ありがとう」の反対の言葉は何でしょう。「ごめんなさい」でも「おはよう」でもありません。

まず、「ありがとう」を昔の言葉にしてみましょう。「ありがたき幸せ」です。

漢字で書くと、「有難き幸せ」となります。どういう意味の漢字でしょうか。

「難い」という漢字は、カチカチに固まって硬いという意味ではなく、「難しい」という意味なのです。ですから、意味は「有ることが難しい」が「ありがとう」の元々の意味です。「普通ではあり得ないことをしていただいて幸せです。」という意味があるのですね。

そうなる、ありがたいの反対は、「普通にあること」となります。普通にあることを何と言いますか。それは、「当たり前」です。「あって当然、してもらって当然、そんなの普通じゃん」…が当たり前です。「**ありがとう**」の反対は、「**当たり前**」だと言えるのですね。

このことを、よく考えてみます。そうすると、分かることがあります。

人は、何かを「してもらって当たり前だ」と考えると、「ありがとう」という感謝の気持ちが出てこないのです。皆さんは、してもらって当たり前だと思っていることはありませんか。

おうちの人に食事を作ってもらうのは当たり前。ご飯を食べられるのは、当たり前。自分が食べた食器をおうちの人が洗うのは当たり前。お風呂の掃除をしてもらうのは当たり前。自分がテレビをみていて、おうちの人が洗濯物を干しているのは当たり前。友達に手伝ってもらうのは、当たり前。先生が勉強を教えてくれるのは当たり前。先生が注意してくれるのは当たり前。地域の方が、道路に立って子供の安全を守ってくれるのは当たり前。・・・こういうことを全部、当たり前と思っていると、感謝することはないのです。でも、それって、本当に当たりのことですか。

おうちの人が、いつも皆さんの近くにいて守ってくれるのは、当たり前ですか。

おうちの人が、皆さんにいろいろしてくれるのは、子供に対して当たりのことですか。

この1年で当たり前がガラリと変わりました。皆さんは自分自身の当たり前を見直しましたか。

水泳ができて当たり前だったプールに、今年はきれいな水が入ることはありませんでした。水泳ができることは、学校では当たり前だったのです。でも、当たり前ではなくなりました。

運動会をしたり、修学旅行に行ったりすることは、これまで当たり前だったのです。でも、今年は、全国でできない学校がたくさんありました。当たり前ではなくなりました。全校朝会だって、体育館に全校児童が集まってできなくなってしまいました。それでもこうして、全校がコンピュータやネットワークを通じて集まることのできることに、私は「ありがたい」と感じます。

さて、皆さんにある学校であった出来事を紹介します。

学校に不審者が入ったことを想定した避難訓練があった日のことです。4年生が帰る途中、スーパーマーケットの前の道路を歩いているおじいさんを発見しました。動きがおかしいので、不審者のようにも見えます。ただ、道路の端の少しの段差にも転んでしまいそうな状態を見て、子供たちは、おじいさんに近寄りました。おじいさんは、家が分からなくなってしまい、困っていたのです。そこで、子供たちは、おじいさんから家のことを聞き取り、道を教えてあげました。しかし、おじいさんは教えてあげた道とは違う方向に行ってしまいました。子供たちは、近くの町内会長さんに話をしました。ちょうどそこにパトロールカーが通りました。おまわりさんにも、おじいさんのことを説明しました。それを聞いたおまわりさんは、おじいさんを探し出し、パトロールカーで無事に家まで送っていきました。

その後、学校には、すぐに町内会長さんからお礼の電話が入りました。勇気があって優しくて、きちんとした対応をしてくれた4年生に一言伝えてください。「**ありがとう!**」って。

さて、皆さんは、気付きましたか。ある学校とは、飯小学校のことです。先月、不審者が学校に入った場合の避難訓練をしたでしょう。その日、昭和町の家に戻る途中の4年生が、おじいさんを守ってくれたのです。町内会長さんは「飯小学校の子どもたちは、いい子供たちですね」とおっしゃっていました。4年生の素晴らしい行動のおかげで、飯小学校のみんなが褒められ、感謝されました。

みんなで、おじいさんを助けた人たちに拍手を送りましょう。ありがとう。

「困っている人がいたら、助けるのが当たり前だよ」という人がいるかもしれませんが、そんなに簡単なことではありません。なかなかできないことで、なかなか、あり得ないことです。だから、「ありがとう」なのです。幸せな気持ちにしてくれて、ありがとうございました。

もう一つ、「**幸せな脳**」の話をしてします。

一日が終わり、眠るとき、皆さんは何を考えますか。今日一日、楽しかったことを思い出しますか。「あれができなかった。これもダメだった。」とダメだった自分を思い出しますか。ダメな自分を振り返ってばかりいると、心の病気にもなってしまいます。大切なのは、今日の自分を認めることです。ダメだった自分がいても、明日に向けて自分を応援してあげることが大切です。自分を認めないと「幸せな脳」が育ちません。「幸せな脳」とは、幸せを感じることができる脳のことです。残念なことに、ゲーム時間が長くなって、やめられない病気（ゲーム依存）になると、幸せを感じられない脳になってしまいます。

「幸せな脳」を育てるためには、一日の終わりに、いろいろな人やいろいろなことに感謝することが大切です。そして、明日は感謝される自分を目指しましょう。誰かに「ありがとう」をたくさん言えて、誰かから1回でもいいから「ありがとう」と言ってもらえる毎日になると、幸せな脳が育っていきます。

ありがとうが、一つも浮かばなかったときには、自分に「ありがとう」を言いましょう。今、いろいろなことを考えることができる自分に、考えてくれて「ありがとう」って言うのです。

さて、今日は、私の長い話を最後までしっかりと聞いてくれて、ありがとう。私は、いつも学校を歩き回りながら心の中で皆さんに言っているのですよ。「私と出会ってくれて、ありがとう」って。

ありがとうの言葉は、何気ないひと言かもしれませんが、でも、とても素晴らしい言葉だと私は思います。なぜなら、この言葉を言われた人は必ず笑顔になり、そのことで私自身もうれしくなるからです。これからも「ありがとう」の言葉を大切に、みんなに感謝の気持ちを伝え、みんなの笑顔を増やしていきたいと考えています。

以上が、12月の全校朝会で話した内容です。長い話でしたが、Zoomで各教室のタブレット端末に接続し、テレビ画面に説明画像を映し出しながら話をしました。今回、話の中心にした「ありがとう」は、私が目指す「幸せな学校づくり」の基盤にある重要な言葉です。

その感謝の言葉が、保護者の皆様に協力いただいたWebアンケートにたくさん書かれていました。まずは、感謝の言葉を書きくださったことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。職員一同、皆様の声を励みに、また頑張ろうという気持ちを高めています。

子供たちにも話したとおり、学校において当たり前のことが当たり前ではなくなったことにより生じた「ありがとう」であるとも考えています。皆様の言葉に感謝しつつも、甘えることなく、気を引き締めていきたいと考えます。

皆様のご理解とご協力のおかげで、一人一人のかがやきづくりができた2学期となりました。本当に有難きことです。どうぞよいお年をお迎えください。

12月の保護者アンケート結果速報

12月のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計結果と分析については、ご意見等への回答とともに、例年どおり3学期にお知らせします。ただ、本年度はWebによるアンケートを実施しましたので、既に集計結果がまとまっております。アンケート結果の速報として、結果のみお伝えします。ご確認ください。

	「お子さんは」を主語にした保護者への質問 16 項目	④	③	②	①	%	50%	100%
1	やる気をもって学習に取り組んでいますか。	29%	55%	15%	1%			
2	おうちの方の話をしっかり聞いていますか。	21%	60%	19%	1%			
3	思っていることや考えていることを進んで話すことができますか。	30%	53%	16%	1%			
4	学校でできたことや分かったことについて話しますか。	32%	51%	14%	2%			
5	宿題や家庭学習に進んで取り組んでいますか。	33%	43%	19%	5%			
6	楽しく学校生活を送っていますか。	53%	43%	3%	0%			
7	感謝の言葉を伝えたり思いやりのある言動をとったりしていますか。	31%	59%	9%	1%			
8	自分の長所や得意なことを言えますか。	27%	49%	22%	2%			
9	友達と仲良くしていますか。	50%	46%	4%	0%			
10	進んであいさつをしていますか。	24%	46%	28%	2%			
11	学校のきまりや交通ルールなどを守っていますか。	43%	53%	4%	0%			
12	早寝早起きを心がけていますか。	25%	44%	25%	6%			
13	感染症予防を意識した生活をしていますか。	40%	50%	10%	0%			
14	ご家庭で決めたテレビやゲームの約束を守っていますか。	21%	42%	28%	9%			
15	進んで体を動かしていますか。	35%	34%	26%	4%			
16	運動面で苦手なことや難しいことにも挑戦し、できるように努力していますか	25%	49%	22%	4%			
	学校についての保護者への質問 5 項目	④	③	②	①	%	50%	100%
17	学校(担任)は、ご家庭の質問や意見に対して丁寧に対応していますか。	62%	37%	1%	0%			
18	おたより、ホームページ等で、学校の様子が伝わっていますか。	44%	53%	3%	1%			
19	ホームページ更新、動画配信、学校のサービス向上を確認できますか。	59%	37%	3%	1%			
20	臨時休業中の対応(PTAメール、アンケート等)は、適切と感じましたか。	55%	42%	3%	0%			
21	学校の新型コロナウイルス感染拡大防止の取組は、適切と感じましたか。	47%	50%	3%	0%			
	「保護者の皆様は」を主語にした保護者への質問 3 項目	④	③	②	①	%	50%	100%
①	お子さんに「ありがとう」と感謝することがよくありますか。	45%	47%	8%	0%			
②	お子さんと一緒にテレビやゲームの約束を守っていますか。	27%	54%	17%	2%			
③	お子さんの目をよく見て対話していますか。	41%	50%	9%	0%			

7月のアンケートと比較すると、全体的に肯定評価が高まりました。特に、16番挑戦意欲は質問項目を「運動面で」と限定したことにより肯定評価が7%アップしました。8番自己肯定と10番あいさつが5%、2聞く、7感謝、11きまり順守が4%アップしました。肯定評価が目立ってダウンしたのは、15番運動でした。もう一つ、5%アップしていた項目があります。関連質問②メディアの約束です。お子さんと一緒に約束を守っている保護者が増えたこと。素晴らしいです。